



なか むら まさ はる
中村 勝春

けんとう
県都クラブ

千歳山の整備を問う

問 千歳山は川喜田半泥子の創作の地として歴史の深い地であるとともに、緑が残された貴重な地でもある。

平成20年に川喜田家から寄附の申し出があり、同時期の津市総合計画に市街地に貴重な緑が残された公園として千歳山を整備し活用することを位置付けた。

千歳山の現在の整備状況はどうか。また交通アクセスについてはどのように考えているのか。

答 これまでに園路や植栽、駐車場など施設の配置や形状に関する概略を決定する基本設計を実施した。今後は、隣接する岩田池公園の整備計画との整合を図った上で、基本設計で決定した施設配置などに基づき、安全性や機能性、デザイン性などを踏まえ、詳細設計を実施する予定である。

交通アクセスについては、これまでにいただいている地域からのご意見などを参考に、県道久居停車場津線側からのアクセスとして、岩田池公園北側に整備するエントランスを千歳山来訪者の大型バスが停車可能な施設としても利用できるようにし、また岩田池公園の整備において、北側の市道を進入道路として利用できるように計画している。

●その他の質疑・質問●

- 防災避難対策における指定外避難所への対策と避難所要員への教育は
- 防犯対策の強化のため防犯カメラ設置補助金の新設を
- 津駅周辺喫煙環境に関し喫煙場所の視認性と利便性の向上を
- 南郊公民館と出張所の高茶屋市民センターへの移転について
- マイクロバスを利用した公共施設見学について など



▲市民の憩いの場として少しでも早く千歳山の公園整備を



いわ わき けい いち
岩脇 圭一

いっ しん かい
一津 会

三重県地域医療構想に対する津市の考えは

問 平成29年3月に三重県地域医療構想が策定されたが、津市としてどのように考え、運用していくのか。また、知事が民間移譲の方針を撤回した県立一志病院について、院内の三重県プライマリ・ケアセンターと、より一層連携を強化し、在宅医療や訪問看護の先進的な取り組みを支援することで、地域包括ケアを推進する拠点となると考えるが、津市の考えは。

答 津区域における医療需要は当面、高い状態で推移することが予想されており、回復期機能の一層の充実、医療従事者の負担軽減、患者の受入体制の確保等が求められていることから、今後も引き続き、医師会等関係機関と連携・協力しながら、津地域医療構想調整会議の中でもしっかりと議論に参加するなどし、望ましい医療提供体制の実現に向け取り組んでいく必要があると考えている。

また、県立一志病院や三重県プライマリ・ケアセンターについては、今後の地域包括ケアシステムを作り上げていく上で、中核的な存在となることから、引き続き連携・協力関係を強めていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

- リノベーションまちづくりについて
 - 既存建物の活用をどのように進めていくのか
 - 一定の地域を設定し、街の魅力を引き出し、高める取り組みを
 - リノベーションまちづくりを担うづくりを
- 津球場公園について
 - 再整備に向けた考えは など



▲全国からも取り組みが評価されている県立一志病院